

5 みんなの活力が あふれるまちづくり

経済のグローバル化や、都市と地方の格差に対応できる地域の総合力による産業体制を整えるために、お互いの連携を通して、新しいアイデアの創造や人材の育成、雇用の確保により、活力あふれるまちをつくります。

1

地域資源を いかした 農林業の充実

須坂市は長い間積み重ねられた高い栽培技術により、全国有数の果樹産地となっています。このほか、特有の伝統野菜などの農業資源を活用し、さらなる農業振興をすすめます。

また、総面積の約70%を占める山林の間伐や治山事業をすすめ、豊かな森林を維持していきます。

施策

22

農業の活性化

農林課

理想とするのは……

市民のみなさんが意欲と自信をもって、いきいきと農業に取り組めるまち。

施策の指標

めどすのは?



支援制度を利用した
耕作放棄地解消面積



一数值の測り方ー

累計解消面積

現状値
(21年度)
15.4ha



目標値
(27年度)
33.3ha

現状・課題

質の高い、地域の特性をいかした農産物が多く、果実出荷量が全国で高位置にあります。従事者の高齢化と担い手が不足しています。

中山間地の野生動物の農作物被害が深刻化しており、被害防止対策や、耕作放棄地の拡大防止が、重要な課題です。

市民のみなさんからの意見

「これからはブランド力を強化することが大切！」

「若い人で農地を持たない人でも農業で働ける場や、農産物を加工するところを作るなど、農業の振興が必要だね」

「生産者と消費者の連携を図ることが難しい」

「私の住んでいる地域では、サル、イノシシによる農作物の食害が多発しています。収穫前の農作物を食い荒らされた光景を見ると、労働意欲がなくなりますよ」



取組んでいきます！

高品質な農産物の栽培

- ・農業者、JA、農業改良普及センターなどと連携し、ブランド力の重要な要素である「安心・安全」な農産物の提供をすすめます。
- ・地域の消費者から信頼される「**地産地消(賞)**」※を推進します。

※注) 43ページ参照

新たな販路拡大と販売促進

- ・インターネットや、ホームページなどを活用した販路を開拓します。
- ・農業関係機関と連携して、大都市圏での売り込みをおこないます。

グリーンツーリズムなど体験・交流型農業の推進

- ・須坂市の農業と観光が連携したメニューを開発します。

農作物の野生動物被害対策の推進

- ・耕作放棄地の拡大防止と野生動物との住み分けのために、市民のみなさんと共に里山に隣接する山林への緩衝帯整備や電気柵などの設置・管理をすすめます。
- ・猟友会と連携し、被害防止対策のために駆除します。

耕作放棄地解消対策の推進

- ・須坂市耕作放棄地対策協議会と連携し、耕作放棄地解消に向け各種事業を推進します。
- ・新たに農業を始める人に、農地や各種補助メニューの紹介など支援します。

家畜防疫対策の推進

- ・須高家畜防疫協議会など関係機関と連携し、伝染病予防に努めます。

農業後継者対策の推進

- ・県及び関係機関と連携し、新規就農者をはじめとする後継者を育成・支援します。

りんごオーナーによる
収穫風景



めざしていきます！

「安心・安全」な農産物を提供する農業者数

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
エコファーマー※認定数	1,039人	1,050人

※注) エコファーマー：土づくり、化学肥料・化学農薬の低減を一体的におこなう生産方式を導入する計画をたて、都道府県知事の認定を受けた農業者。

JA須高の取扱品目の販売実績

JA須高の受託販売品取り扱実績(うち須坂市分)	38億5,300万円	43億8,800万円
-------------------------	------------	------------

体験・交流型農業への参加者数

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
グリーンツーリズム体験プログラム参加人数	373人	640人

電気柵などの設置

設置済みの合計距離	24.73km	49.25km
-----------	---------	---------

施策
23

森林の多面的機能の維持保全と共生

農林課

理想とするのは……

健全な森林の維持と、多面的・公益的な機能の保持のため、適切な森林の育成管理と基盤整備により、森林を社会全体の「緑の財産」として、次の世代に引き継ぐまち。

施策の指標

めざすのは？



森林(もり)の里親制度※の契約件数



一数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
累計契約件数	1件	5件

※注) 森林(もり)の里親制度：森林所有者と企業が里親契約を結び、森林整備の促進や企業と住民との交流を深めるなど、森林づくりをすすめていく事業。

現状・課題

良質木材の生産には適期の間伐が不可欠であり、恒常的な間伐と間伐材利用のためには、作業道整備などが必要です。効率的な作業に取り組んでいますが、木材需要の減と木材価格の低迷により、林業は厳しい状況にあります。

市民のみなさんからの意見

「森林セラピーなどによる、癒しや健康増進に向けた地域づくりの研究をしてはどうだろう」

「自然環境はむやみに植栽をせず、二次林(雑木林)として維持し『身近な里山』としてほしい！」

取組んでいきます！

森林の保健機能の増進

・自然を求めて訪れる観光客や地域の方が安全に森林浴を楽しみ、癒し効果による身心の健康増進ができるよう、里山の遊歩道などを整備します。

間伐事業の推進と間伐材の活用

・森林整備計画に基づき、里山地区を中心に間伐作業をすすめます。
・間伐材の活用により、木の文化の再認識や森林に対する関心を高めます。

作業道などの整備

・間伐経費を削減し、搬出間伐と成木の搬出が今後も恒常的におこなえるよう、作業道を新設・整備します。

治山事業の推進

・里山での集中豪雨などによる土石流災害を防ぐため、自然環境の保全と適切な整備で、保安林の防災機能を強化します。

松くい虫などの防除対策の推進

・地上薬剤散布と被害木伐倒駆除により、まん延防止をすすめ、緑豊かな景観形成を保全します。

めざしていきます！

間伐整備の実施

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
累計実施面積	576.67ha	1,350ha

第1部 基本構想

第2部 基本計画

重点プロジェクト

健康・福祉

子育て・教育

環境・安心安全

文化・スポーツなど

産業振興

都市基盤整備

行政経営

資料編

2

時代のニーズに対応できる工業

人口減少・少子化・高齢社会の到来、国際競争の激化など、地域経済を取り巻く環境が急激に変化する中で、このような変化に対応できる工業の活性化が必要です。

そのために、国県などの公募資金の活用による技術開発や研究開発、販路開拓や企業立地の支援体制の強化、産学官連携の環境整備などにより、工業の活性化とともに地域活性化を図ります。

施策 24

既存産業の高度化・高付加価値化の促進

工業課

理想とするのは……

地域に住むみなさんが豊かに暮らせる経済環境をつくるため、市内企業の経営革新、産学官・産学・産産連携などによる技術開発や販路開拓により、企業活動が活発におこなわれているまち。

施策の指標

めどすのは? 粗付加価値額
(製造品出荷額などから原材料使用額などを差し引いた額) UP↑

一数值の測り方— 従業員1人あたりの 粗付加価値額	現状値 (21年度) 902万円	目標値 (27年度) 1,110万円
---------------------------------	------------------------	--------------------------

現状・課題

須坂市は、高い開発力をもった高付加価値型産業の集積をめざし、意欲ある企業への積極的な支援による産業振興が望まれています。

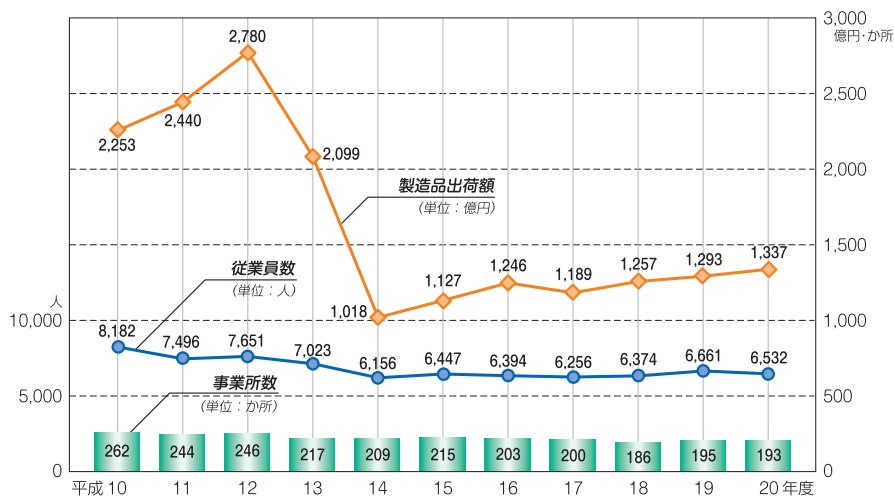
そのため、産業コーディネート・アドバイス事業を中心とした産学官・産学・産産連携事業を実施し、研究開発、販路拡大、研究会活動を推進し、必要により提案公募型事業を導入しています。

今後は、社会的課題解決型プロジェクトを推進し、とりわけ、地域資源を活用した農業、商業、工業、観光の各産業が連携し、相乗効果を生み出すことによる産業活性化が必要です。

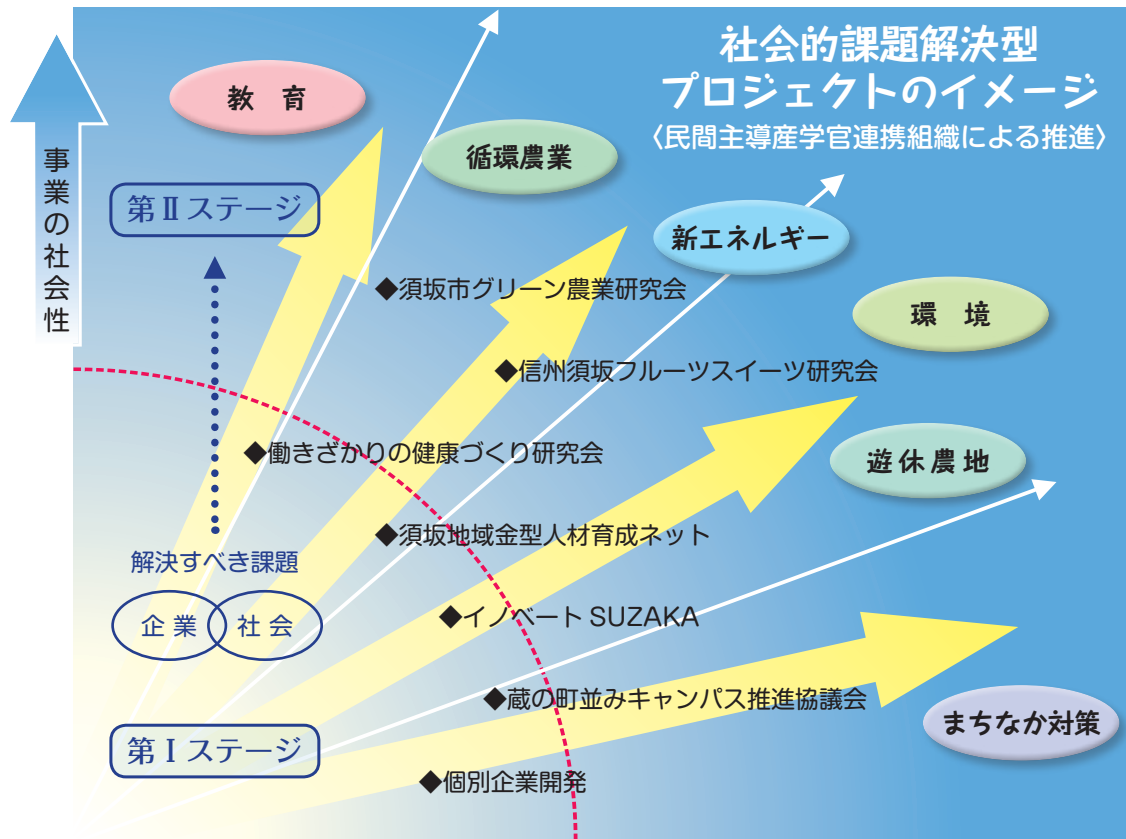
市民のみなさんからの意見

- 「須坂発の新製品、新技術の合同開発を！」
- 「他産業との連携が大切だ」
- 「産学協同の新技術研究所のような環境を整えて、資本の流入を図って行くべき！」

【工業の推移(従業員4人以上の事業所対象)】



出典：工業統計調査



取組んでいきます！

地域企業の技術力、経営基盤の強化

- ・産業コーディネート・アドバイス事業を中心とした産学官・産学・産産連携事業による企業の技術開発・研究開発などを支援します。
- ・企業などの資金需要に応じた制度資金の融資あっせんをします。

社会的課題解決型プロジェクトの構築

- ・既存組織の連携を促進し、地域が抱える社会的課題解決型のプロジェクトを支援します。

提案公募型事業（競争的資金）の導入

- ・国・県などの提案公募型事業（競争的資金）の導入により、技術開発・研究開発などに支援します。

組織横断型推進体制の確立

- ・庁内関係各課との連携によるプロジェクト推進体制を整備します。

販路開拓の支援

- ・産業フェアなどの出展を支援するとともに、県など関係機関と連携して、企業がおこなう販路開拓を支援します。

企業動向の把握

- ・企業動向調査及び企業訪問などにより企業動向、企業の今後の展開と課題を把握するとともに、調査結果などの情報を企業へ提供します。

めざしていきます！

製造品出荷額

（その事業所で製造したものや、下請工場などに原材料を支給して製造させたもので、1年間に出荷した額）

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
従業員1人当たりの製造品出荷額	2,047万円	3,080万円

製造業融資あっせん

製造業の県と市の制度資金の融資あっせん件数	72件	100件
-----------------------	-----	------

提案公募型事業の採択

年間採択件数	3件	5件
--------	----	----

産業展示会出展

産業フェア in 善光寺平の出展企業数	16件	20件
---------------------	-----	-----

理想とするのは……

企業誘致の推進を地域経済の活性化や雇用の創出を支える柱として、活発に企業活動がおこなわれているまち。

施策の指標

めざすのは？



県営日滝原産業団地や
工業系用途地域への立地企業数



—数値の測り方—

企業立地振興事業補助金などの
累計交付件数
(新設の用地取得・建物設置のみ)

現状値
(21年度)
2件



目標値
(27年度)
5件

現状・課題

企業誘致については、インター須坂流通産業団地が完売し、雇用の創出と財政の健全化が図られ、製造品出荷額が平成17年から微増しています。

しかし、県営日滝原産業団地は、分譲率が須坂市分51%にとどまっており、今後は、県と連携した戦略的分譲促進と、新産業団地の研究をおこなう必要があります。

市民のみなさんからの意見

「工業団地への誘致に助成金を出すなど、活発な運動をして、ものづくりのまちの活気を取り戻してほしい」

「生まれ育った地域で働けるように、施設・工場などの受け入れを充実してほしい」

「産学官連携拠点施設（インキュベーション・共同研究・交流サロンなど）の検討をすすめて！」



取組んでいきます！

産学官連携の環境整備

- ・インキュベーション施設(起業や創業をする入居者を支援する施設)や共同研究施設、企業間の交流スペースなどを備えた産学官のネットワーク拠点施設設置を検討し、産業の振興に努めます。

企業立地への支援

- ・県と連携して日滝原産業団地の分譲を推進します。
- ・市内の空き工場など工業系用途地域の有効活用による立地を支援します。
- ・新たな産業団地について調査研究し、企業立地を支援します。



めざしていきます！

立地補助

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
工業系用途地域への累計立地企業数(空き工場含む)	0件	2件



県営日滝原産業団地付近



インター須坂流通産業団地

3 人々で 賑わうための 商業振興

経済状況や社会情勢の急激な変化とともに、消費者のニーズや生活の価値観が多様化し、業態も変化してきています。

特色のある商店などが集まり、人々が買い物や食事を楽しみ、行って歩きたくなるような、賑わいと活気のあるまちをめざします。

施策 26 商業の活性化

商業観光課

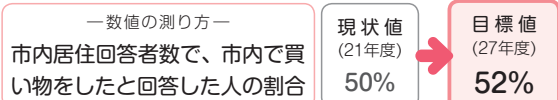
理想とするのは……

消費者にとっても、商店にとっても安心して過ごせるまち。

個性的で魅力のある店が集まり、歩いて楽しいまち。

施策の指標

めざすのは？ 市内で買い物をする市民のみなさんの割合（地元滞留率）



現状・課題

店主の高齢化や施設の老朽化、郊外大型店の出店や隣接市への買い物客の流失などにより、まちなかの活気が薄れています。

このような中で、特色をいかしまちの雰囲気があった、個性的な商店や特徴のある商店の出店を促すとともに、消費者のニーズにあった、買いたい、歩きたい、自分でつくって楽しめる、また、安心して休んだり、話ができる、まちなかをつくっていく必要があります。

市民のみなさんからの意見

「『買い物』だけでなく『ショッピング』ができる須坂の商業にしたいね！」

「魅力ある商店の創出や専門店化を考えるべきだ」

「店主の高齢化、設備の老朽化を何とかしないと…」

「商店街相互の情報交換の場づくりが必要では？」



森のわっこ(中町)

取組んでいきます！

魅力的で集客力のある店の出店支援

- ・わざわざ店などの開設に向けた補助事業や空き家などの情報を積極的に発信します。
- ・わざわざ店などを開設する起業者を支援します。

集客イベントなどへの支援

- ・須坂商工会議所、須坂市商店会連合会、NPO法人などと連携して、個人や高校生なども含めた団体がおこなう活性化イベントを支援します。

新たなサービス活動への支援

- ・地産地消(賞)[※]・地元特産物を活用した、食や土産品などの開発を支援します。 ※注) 43ページ参照
- ・新サービス産業を創出するための起業などを支援します(インキュベーション施設など)。

商店街などの活動基盤の整備

- ・商店街などの高度化、近代化などの基盤整備を促進するため、須坂市商店会連合会や須坂商工会議所の活動を支援します。

経営基盤の強化

- ・須坂商工会議所などと連携して経営相談や企業診断などを支援します。
- ・商店などの資金需要に応じた制度資金の融資あっせんをします。

めざしていきます！

年間の申請件数

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
魅力的で集客力のある店、わざわざ店などの開設支援事業	8件	15件
個人や高校生なども含めた団体がおこなう活性化イベントへの補助	1件	3件
新しい土産品など開発事業の年間補助	1件	3件
商店などへの市制度資金の融資あっせん(累計)	65件	250件

4

たくさんの方が訪れるまちづくり

観光資源を活用するとともに、さらに磨きをかけ、様々な関係団体との連携と絆により、戦略的な情報発信や「おもてなし」運動の推進、観光旅行商品の開発などに取組んでいきます。

観光産業を振興することで、「一度は訪れたくなるまち」、そして「もう一度訪れたくなるまち」をめざします。

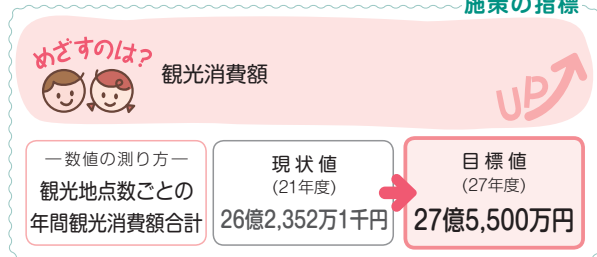
施策 27 観光産業の振興

商業観光課

理想とするのは……

地域の伝統文化・お祭りの再生など、地域行事を通じたコミュニティ活動で近所づきあいを広げ、地域の良さを知り、須坂の魅力を訪れる人に伝え、交流を深めることにより、地域で連携して観光産業を振興し、観光に訪れる滞在客が増えているまち。

施策の指標



現状・課題

観光情報の発信により、須坂市は全国的にも知られつつありますが、宿泊施設が少ないこと、観光客の滞在時間が短いこと、観光客の受け入れ体制などの課題があります。市民のみなさんや関係団体と連携した観光施策や、観光消費拡大のための施策により、観光産業を振興することが必要です

市民のみなさんからの意見

「市民ももっと須坂の良い所をPRできるように！」
 「『これぞ』という食べ物が無い。B級グルメを創出しては？」
 「宿泊施設が少なく、観光客に通過されているのを何とかしなきゃ！」



蔵のまち観光交流センター

取組んでいきます！

おもてなし運動の推進

・観光関係者を含めた**全市的な「おもてなし」**を、市民のみなさんや関係団体と連携して推進します。

自然体験型の宿泊客の受け入れ

・自然をいかした体験型農業や自然体験型の宿泊など、新たな観光産業創出の機会を提供します。

観光物産品の販売促進

・「蔵のまち観光交流センター」などを活用して、市民のみなさんや関係団体との連携により、観光物産・土産品の販売を促進します。

観光物産品の開発

・果樹、味噌などの特産物をいかしたグルメや、特産品に付加価値をつけた銘品、土産品の開発を支援します。

戦略的な観光情報PR・情報の発信

・須坂の伝統や歳時記なども含めた、戦略的な観光情報のPRや発信により須坂の魅力を伝えます。

社会的課題に適應した観光振興

・環境や健康などの社会的課題やニーズに適應した観光産業の開発を支援します。

めざしていきます！

おもてなし宣言率

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
市の関係団体や関係機関のうち宣言をした団体などの割合	0%	100%

新たな観光産業の創出

創出件数	0件	2件
------	----	----

観光交流センター販売額

年間販売額	216万円	300万円
-------	-------	-------

観光メールマガジンの発行

年間発行回数	1回	20回
--------	----	-----

観光交流センター来館者

年間来館者数	1万3,879人	2万人
--------	----------	-----

観光協会窓口案内

年間案内者数	5,714人	7,000人
--------	--------	--------

施策 28

観光資源の活用

商業観光課

理想とするのは……

蔵の町並みや、素晴らしい自然などの観光資源を点から線、面へと連携することで、歴史ある「須坂らしさ」を観光のイメージとしているまち。

施策の指標

めざすのは？

観光地利用者数



一数值の測り方 観光地点数ごとの 観光入込客数	現状値 (21年度) 122万2,400人	目標値 (27年度) 125万人
-------------------------------	-----------------------------	------------------------

現状・課題

自然や蔵の町並みなどの産業遺産、味噌などの特産物やおいしい果物など、恵まれた観光資源を点から線、線から面と効果的に融合させ、そこに須坂の名産、銘品、土産品、食などを総合的に組み込んでいくことが求められています。

観光資源の活用による「須坂らしさ」のイメージを確立し、ブランド化を図っていくことが必要です。

市民のみなさんからの意見

「地元の人が、須坂の観光資源や、特色を知らない」
 「市民がおこなっていないし、知らないことが多い。施設同士の連携もできていないみたい…」
 「自然(山、森林)を利用した観光地の整備が必要だ」



信州須坂・シルクと蔵のまちツアーデーウォーキング

取組んでいきます！

既存観光資源の連携

・観光案内板の設置や観光施設間の連携により、観光資源の線の・面的な整備による観光ルートを開発します。

新しい観光資源の開発

・ウォーキングや歴史など、様々なものを新たな観光資源と捉え、比較優位性のある観光資源を開発します。

観光資源の連携と戦略的広報の実施

・観光資源を連携させた戦略的な観光情報のPRや発信により、効果的な観光振興を推進します。

広域観光資源の連携と広報

・広域的な観光資源の連携と戦略的広報の実施により、観光客の増加とブランド化をすすめます。

観光資源を活用した旅行商品の開発

・観光協会などと連携し、歴史・自然・産業などの観光資源を活用して、「観光旅行商品」の開発に向けた仕組みをつくります。

めざしていきます！

送付要望に対するパンフレット発送

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
年間送付件数	757件	1,000件

既存観光資源の連携

他部門と連携した観光PRの累計実施数	0件	2件
--------------------	----	----

戦略的広報の実施

須坂市の観光資源の新聞、テレビなどでの年間紹介数	118件	125件
--------------------------	------	------

須坂市の観光資源を訪れるツアーバス

ツアーバスの年間台数	392件	600件
------------	------	------

須坂市の玄関口 須坂長野東インターチェンジ出口付近



5

雇用の確保と充実

働く意欲を持った人たちが、その知識や経験をいかし、自分にはどんな仕事に向いているのかを理解した上で、その希望に応じた職業に就くことができ、充実した人生を送ることができるよう、雇用の確保と充実及び勤労者福祉の増進に取り組むとともに、求職者や就業者向けの各種講習会を開催し、職業能力の向上をすすめます。

施策 29

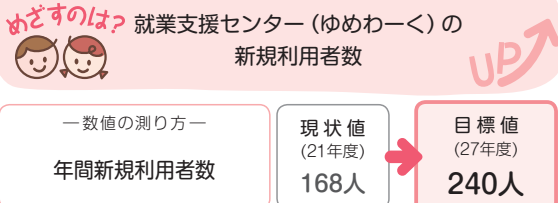
雇用機会の充実と産業人材の育成

工業課

理想とするのは……

働く意欲を持った人たちが、自ら希望する職業につき、その知識や経験をいかし、充実した人生を送ることができるまち。

施策の指標



現状・課題

高校卒業者や大学卒業者の地元への就職先の確保をすすめ、若年者の地元就職を促進するとともに、中高年齢者の転職、就業を支援するため、相談業務をさらに充実させ、個々の適正にあった就業を支援する必要があります。

また、求職者や就業者向けの各種講習会を開催し、職業能力を向上させるとともに、当該講座を充実させる必要があります。

市民のみなさんからの意見

- 「若者の雇用促進、須坂で暮らしてもらうためのアイデアがない」
- 「次世代の子どもたちが、須坂に戻って生活できる環境になるようにしてほしい!」
- 「企業見学、職業体験への協力を通して、職業観を育てていこうよ!」



就業支援センター（ゆめわーく）

取組んでいきます!

就業支援センター事業の充実

- ・求職者、在職者に対する丁寧なキャリアカウンセリングにより、的確に就業への方向付けをします。
- ・利用者への情報提供など、アフターケアも充実します。
- ・就業支援センターの事業内容を広報への掲載などにより、市民のみなさんにPRします。

企業が求める産業人材の育成支援

- ・産業人材の育成のための金型、組込などの講習会を開催します。
- ・企業の研修ニーズを把握し、講習内容を充実します。
- ・高校再編における総合技術高校の創設を支援します。

職業観の早期醸成事業

- ・職業観の早期醸成のため、小学5年生及び高校2年生の、職業現場の見学事業を実施します。
- ・進路指導のため、中学校や高等学校へ講師（キャリアカウンセラー）を派遣します。
- ・次世代を担う小中学生に対し、ものづくりの楽しさを学んでもらう講座を開催し、将来の産業振興につなげていきます。

農業サポートセンターの運営

- ・農家の求めに応じた、労力不足に対し支援します。
- ・サポーターの技術者講習会などを開催します。

めざしていきます!

産業人材育成研修への参加

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
年間参加者数	421人	500人

小学校5年生、高校2年生対象の職場見学参加者数

数値の測り方	現状値(20年度)	目標値(27年度)
年間参加者数	614人	700人

農業サポーター登録者

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
累計登録人数	103人	130人

施策
30

労働環境の整備と勤労者福祉の増進

工業課

理想とするのは……

勤労者がいきいきと働き、実りある人生を送ることができるよう、企業との連携を通じて、働きやすい環境づくりや勤労者福祉の増進がすすめられているとともに、仕事と生活の調和がとれたまち。

施策の指標

めざすのは?

勤労者互助会の会員数



—数値の測り方—

会員数

現状値
(21年度)
1,299人

目標値
(27年度)
1,360人



現状・課題

須坂市の勤労者の多くは中小企業で働く者であり、労働条件や福利厚生面で大企業と格差があることから、勤労者福祉施設の充実、福利厚生の充実・促進、労働環境の改善による、勤労者福祉を増進する必要があります。

男女共同参画社会に対応した、子育て支援や介護休暇制度などの周知と、男女共同参画社会づくりの意識を高める必要があります。

市民のみなさんからの意見

「福利厚生の面からも、若者への社会的メリットをもっと増やすべき！」

「男女共同参画への推進体制が不十分だ」

「勤労者への福利厚生が充実していない」

取組んでいきます！

勤労者互助会事業の充実

・中小事業所に働く未組織労働者の福利厚生を支援するため、勤労者互助会の充実及び加入促進をすすめます。

勤労者生活資金融資事業

・生活資金融資制度、住宅関連融資制度により支援します。

中小企業退職金共済への加入促進

・中小企業の従業員の退職金制度を確立するため、勤労者退職金共済機構などと、契約した者の共済掛金について、支援します。

男女共同参画社会づくりの普及、啓発

・仕事と生活の調和の実現のため、様々な研修会、講演会への参加を企業に周知し、普及をすすめます。

めざしていきます！

勤労者生活資金融資の利用

数値の測り方	現状値(21年度)	目標値(27年度)
須坂市勤労者生活資金融資件数	51件	70件

勤労者生活資金融資

須坂市勤労者生活資金の年間融資額	6,328万円	8,308万円
------------------	---------	---------

退職金共済

中小企業退職金共済利用件数	138件	150件
---------------	------	------

企業向け講演会

研修会や講演会への累計参加者数	49人	150人
-----------------	-----	------